令和 5(2023)年度第１回　総合地球環境学研究所運営会議議事概要

日時：令和５（2023）年７月４日（火）14：00～17：12
場所：Zoom 開催/総合地球環境学研究所講演室
出席者：（所内委員）【対面】小林（傳）（副議長）、亀山、小林(い)、佐藤（15:25 参加）、篠田、
竹中、長尾（14:18 参加）　【Zoom】浅岡の各委員
（所内委員）【対面】陀安（議長）、谷口、荘林、松田の各委員
（陪席）山極所長、島根管理部長

開会・所長挨拶

陀安議長が開会を宣言し、引き続き所長挨拶があった。

定足数及び配付資料の確認

定足数（全委員数 12 名→定足数７名、出席委員 10 名〈地球研参加９名、オンライン参加１名〉）及び配付資料の確認が行われた。（審議事項においては出席委員１２名（地球研参加１１人、オンライン参加１名）

議事概要の確認

令和４年度第４回運営会議（3 月 23 日開催）の議事概要が承認された。また谷口委員から、9 月 25 日開催の公開シンポジウム「社会正義と地球環境-包摂的な未来社会に向けて-」の案内があった。

報告事項

（1）令和５（2023）年度総合地球環境学研究所運営体制について
山極所長から、資料 2-1～2 に基づき、報告があった。

（2）研究教育職員等の人事異動について
井関総務課長から、資料３に基づき、報告があった。

（3）令和５（2023）年度特別客員教授等について
井関総務課長から、資料４に基づき、報告があった。

（4）令和５（2023）年度実践プロジェクト予備研究（FS）の採択について
谷口委員から、資料 5-1～6 に基づき、報告があった。その際、以下の観点等について意見交換があった。
・研究課題名の HP への公開、一般の方へのわかりやすい配慮等について
・日本の里山への国際的な関心、研究対象とするフィールド
・民間企業との連携や資金提供を念頭においたチャンネル作り
・日本における野生動物の管理と利用に関する課題等

（5）令和６（2024）年度概算要求について
議長から、資料６に基づき、報告があった。

（6）文部科学省大型プロジェクト基本構想「ロードマップ 2023」の応募について
山極所長から、資料７-1～2 に基づき、報告があった。その際、以下の観点等について意見交換があった。
・組織図におけるミューザゴラの担当部署
・連携機関のかかわり方・インタープレナー人材や URA 等について

・博士取得者の就職状況やキャリアパス等
・国立科学博物館のサイエンスコミュニケータ養成実践講座等

（7）総合地球環境学研究所プロジェクトリーダーの交代に係る申合せの制定について
谷口委員から、資料８-１～２に基づき、報告があった。

（8）研究活動等の状況について
松田委員から、資料９-１～２に基づき、報告があった。

（９）その他　　特になし

審議事項

（1）　所長候補者選考手続きについて
議長から、資料 10-1～6 に基づき説明があり、審議の結果、承認された。
その際、以下の観点等について、意見交換があった。
・推薦者の範囲、選考プロセス（被推薦者の人数、被推薦者の内諾）、選考委員会の役割
・組織の課題解決や今後の計画に特化した選考基準
・被推薦者に関する意見照会の可否等

（2）研究教育職員（教授）の選考について
竹中委員（人事委員長）及び谷口委員（人事委員会所内世話役）から資料 11-1～３に基づき説明があり、投票による採決の結果、承認された。

（3）研究教育職員の再任について
谷口委員（第３条２項人事委員長）及び山極所長から、資料 12-1～２に基づき説明があり、挙手による採決の結果、承認された。その際、資料 12-2 の内容等について、意見交換があった。
また引き続き山極所長から、資料 12-３～４に基づき、説明があった。

（4）研究教育職員の昇任について
竹中委員（人事委員長）及び谷口委員（人事委員会所内世話役）から資料 13-1～２に基づき説明があり、投票による採決の結果、承認された。その際、資料 13-2 の内容等について、意見交換があった。

（5）令和５（2023）年度総合地球環境学研究所外部評価について
議長から、資料14に基づき説明があり、審議の結果、承認された。なお、佐藤委員から昨年度の外部評価報告書における指摘事項への返答について質問があり、意見交換の結果、事前に資料を送ることとなった。

（6）第 12 期研究プログラム評価委員会（EREC）委員候補者について
山極所長から、資料15－1～2に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

（7）その他　　特になし

意見交換

閉会

陀安議長から、資料 16 に基づき、令和 5 年度のスケジュールについて説明があり、10 月 20 日（金）に開催の『地球研今昔ダイアローグ』についても報告があった。

以上